

都心の魅力にあふれ、
文化と伝統が息づくまち、千代田

これからもずっと、
千代田を大好きでいてくれる、
みなさまへ。

ちよだみらいプロジェクト
—千代田区第3次基本計画2015—

10年後の千代田をのぞいてみよう!

はじめに

千代田区の定住人口は、平成25年4月に5万人を回復し、今後10年間で6万5千人まで増加することを想定しています。

こうした人口の増加や世代構成の変化、また社会経済情勢の変化等により、区政に期待される役割は、ますます多様化し、新たな対応が求められることが予想されます。

基本計画の改定にあたり、区では、多様化する区民ニーズや区政の課題を的確に把握するため、区民アンケートの実施や区民会議を開催し、これまで区政にあまり関わりのなかった区民の方からもご意見を伺いました。そして、多くの区民の皆さまからの区政に対するご意見を参考にしながら、区の新たな基本計画として「ちよだみらいプロジェクト」を策定しました。

このプロジェクトでは、今後10年間に区が取り組むべき施策について、現状と課題や課題解決の方向性を取りまとめ、将来像としてめざすべき10年後の姿と、それを実現するための主な取組みを明らかにしています。

今後、本プロジェクトに掲げた10年後の将来像の実現に向けて、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機とした取組みや、マンションコミュニティの醸成、地方との共生など、様々な取組みを着実に推進してまいります。

本プロジェクトが、多くの区民の皆さまにとって千代田区の将来を考える一助となれば幸いです。



千代田区長

石川 雅 己



みなさまとともに、 笑顔の通いあうまちへ。

千代田区は、立法・司法・行政の三権及び経済・金融という首都機能を備えた日本の中心・東京の顔です。そして、江戸開府以来400年以上の歴史・文化がまちと人々の生活に息づいているだけでなく、中心に位置する皇居の存在が、歴史と文化、風格などのイメージを高めています。さらに、都市インフラの整備が充実し交通の利便性が極めて高いことや、文化芸術をたしなむ場が数多く集積していることなど、多様な活動を享受できる地域でもあります。

一方で、区民の生活や都市活動は、それを支えるエネルギーや食料供給等を地方に依存しており、地方との共生なくして区は成り立ちません。従って、区政運営にあたっては、他の自治体以上に世界や日本全体の社会経済情勢を見極めるとともに、地方との連携の促進や地域固有のポテンシャルの活用、多様な主体による地域社会のつながりへの対処などの必要があり、多角的・多面的な視点で柔軟に対応することが求められます。

ちよだみらいプロジェクトでは、このような区の特徴を踏まえ、区政の柱である、区で活動する様々な主体が、互いに認めあい、尊重しあう地域社会を「共」に「生」きる「共生」の理念の実現に向けた取組みを行っていきます。また、都市の持つ集客力や情報発信力を活用して地方との連携を促進し、「地方との共生」も実現していきます。

＝ 未来へ ＝

ちよだみらいプロジェクトは、千代田区の将来像を描き、それを実現するための施策のみちすじを示した行政運営の指針である「千代田区第3次基本構想～千代田新世紀構想～」の実現に向け、区政の課題を明らかにし、その解決の方向性を示す総合的な計画です。

区政の課題と解決の方向性を示すとともに、10年後の姿や、それを実現するための取組み内容とその進捗状況や効果を、簡潔にわかりやすく表現することで、多くの区民が今後の区政を考える素材として活用できる基本計画をめざして改定しました。

基本計画に基づき、区政の課題解決(＝目的)に向けて、適切な手段(＝事務事業)を選択していくためには、目標を明確にし、適切な進行管理を図ることが必要です。

そのため、ちよだみらいプロジェクトは目標管理型の計画とし、「施策の目標」ごとにめざすべき10年後の姿を明記し、目標にどの程度近づいたかを把握する目安として「施策の目標の実現に関する指標」を設定しています。

基本構想

1

安全で安心できる、 いつまでも住み働き続けられるまちへ

- 1 地域ごとのまちづくりのルールをつくります
- 2 多様な暮らし方に対応した住まい・住環境づくりを進めます
- 3 だれもが移動しやすい環境の整備を進めます
- 4 清潔で、風格ある、安全・安心なまちづくりを進めます
- 5 みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます
- 6 建物の耐震化を促進します
- 7 身近な緑を増やし、うるおいのあるまちをめざします
- 8 地域ごとの特性を踏まえた景観を守り育て、千代田区の魅力を高めます
- 9 千代田区の魅力を効果的に発信するとともに、地方との連携により、区内地域の活力を高めます
- 10 中小企業や商工業の活性化を支援します
- 11 消費生活にかかる相談、支援を充実します
- 12 地球に優しい環境づくりを進めます
- 13 資源循環型都市をめざします



2

福祉の心が通いあう、 安心と支え合いのまちへ

- 14 感染症や食中毒等を予防し、発生時には迅速な対応をする体制を整備します
- 15 一人ひとりの健康づくりを支援します
- 16 安心して医療が受けられるしくみづくりと、医療と介護の連携の推進に努めます
- 17 高齢者が安心して暮らせる地域づくりに向け、地域包括ケアシステムを構築・推進します
- 18 認知症高齢者を地域で見守り、支えるしくみを強化します
- 19 高齢者が、地域で生きがいを持ち、活動的に生活できるよう支援します
- 20 障害があっても暮らしやすい地域をめざします
- 21 障害者の就労を支援します
- 22 保護者の多様なライフスタイルに応じた子育てができる環境を整えます[34に再掲]
- 23 安心して子育てができ、子どもたちがすくすくと育つ地域づくりを進めます
- 24 福祉サービスの質の維持・向上に努めるとともに、生活困窮者に対する生活支援を強化します

3

心豊かに学び、 文化を創り出すまちへ

- 25 他者を思いやり、人との関係をより良く築く力を共に育む教育を進めます
- 26 グローバル社会で活躍する資質・能力を育て、主体的・協働的・創造的に生きる力を身に付ける質の高い教育を進めます
- 27 児童・生徒が安全にのびのびと成長できる環境を整えます
- 28 区民が自主的に学習活動に取り組み、また、スポーツに親しめる環境づくりを進めます
- 29 豊かな歴史や文化資源、文化芸術を気軽に楽しみ、親しめる環境づくりに取り組みます



4

人と人とのふれあいを大切にする、 個性あふれるまちへ

- 30 地域力の向上を支援します
- 31 マンション内コミュニティの醸成を支援します
- 32 男女共同参画社会の実現をめざします
- 33 人権侵害のない社会をめざします
- 34 保護者の多様なライフスタイルに応じた子育てができる環境を整えます[22の再掲]
- 35 国際交流・協力や平和活動を推進します

計画の実現に向けて

- 36 区民の参画・協働と開かれた区政を実現します
- 37 質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進します

なるほど！ 千代田

C O L U M N

千代田の由来って？

「千代田区」は、昭和22年、麹町区と神田区が合併して誕生しました。千代田という名前の由来は、江戸城の別名「千代田城」にちなんだものであり、この城を中心に発展してきたことから、新しい区名としてごく自然であり、文字もやさしく、言葉のひびきも美しいという理由からだろうと考えられます。また「千代田」は千年(長い間)栄える田地という大変すばらしい意味です。

昼夜間人口差が すごい！

千代田区は、東京都23区のほぼ中心にあり、人口は約5万7千人(平成27年3月1日現在)と23区内でも最少で、人口密度も世帯数も少ないです。しかし、夜が明けると、80万を超える膨大な人口を飲み込む街でもあります。昼間人口と夜間人口の差はなんと約17倍です。



誰もが住みやすく、
暮らしやすいまちをめざして。

千代田区の未来予想図

（ ちよだみらいプロジェクト
重点プロジェクト ）

- | Part 1 | 子育てしやすいまち
- | Part 2 | 高齢者になっても住み続けられるまち
- | Part 3 | 都心で水辺に親しめるまち
- | Part 4 | 人とのつながりが持てるまち
- | Part 5 | 自転車利用がしやすい環境にやさしいまち
- | Part 6 | 災害にそなえ「協助」が確立されたまち
- | Part 7 | 安全で、ホスピタリティあふれる魅力的なまち

「めざすべき、未来」

子育てしやすいまち

～笑顔あふれる千代田

◎ 待機児童がゼロに

乳幼児人口が増加し、女性の社会進出が進む中でも保育園の待機児童、学童クラブの待機児童がいずれもゼロで、確実に保育・学童ニーズに応えられています。

◎ 老朽化施設の
計画的な改築、改修

保育園や児童館など、老朽化した施設の改築や大規模改修が計画的に行われ、子どもたちが良好な環境のもとで、のびのびと元気に育っています。

◎ 子育て支援・児童相談の強化

子育て支援や児童相談の機能が強化され、児童虐待が未然に防止されています。

◎ 母子保健サービスの充実

核家族化の進行により、妊娠・子育て中は社会から孤立しやすく、子育てにひとりで悩みがちです。精神的に安定した状態で安心して楽しく子育てができるよう、乳児期の母子保健サービスの充実、気軽に相談できる場の提供が図られることで、地域で子どもを育てる意識が高まり、子どもたちが健やかに成長しています。

◎ 保育施設の充実

子育てに関する様々な考え、多様な働き方に応じた保育ニーズを受け止めるために、設置主体や運営主体が多様な保育施設があります。どの保育施設を選択しても安心して子どもを預けられるように、保育内容や設備等において公立認可園と同程度の水準が確保されています。

主な取組み

待機児童ゼロ対策
(保育園・学童クラブ)

次世代育成支援計画に基づき、私立認可保育所や小規模保育事業、私立学童クラブなどを誘致するとともに、教育施設等の活用による保育の供給をします。

妊娠・出産から育児まで
切れ目のない母子保健サービス

ママ・パパ学級、妊婦健康診査、乳児家庭訪問指導（こんにちは赤ちゃん事業）、乳幼児健康診査などの母子保健サービスを充実し、乳幼児の健やかな成長と保護者の育児不安・ストレスの軽減を図ります。



児童施設の整備

麹町保育園や四番町保育園、四番町児童館、一番町児童館など老朽化した施設の改築や大規模改修を行い、保育需要への対応、乳幼児期から学齢期の子どもたちの良好な成育環境の整備を実施します。



笑顔いっぱい ✨ ✨
暮らせるまち。



「めざすべき、未来」

高齢者になっても 住み続けられるまち

～住み慣れたまちでずっと過ごせる千代田



必要サービス、 相談できる体制の充実

様々な相談が気軽にできる体制が整っているだけでなく、介護保険制度を補う高齢者福祉サービスが充実し、必要なサービスが適時提供されることで、安心して住み慣れた地域で暮らすことができます。

在宅介護・医療体制の強化

介護や医療が必要な状態であっても、高齢者総合サポートセンターを拠点として在宅介護・医療をバックアップする体制が強化され、高齢者が地域で安心して暮らし続けることができます。

社会参加による生きがいづくり

自立した生活が継続できるよう高齢者の社会参加、身体機能を維持するための場と機会が提供されています。また、元気な高齢者が介護の支え手側に回ったり、ボランティア活動を行ったりしながら、生きがいを持って生活することができます。

高齢者向け施設・ 住まいの充実

特別養護老人ホームをはじめとする高齢者施設の整備が進むことで、在宅で生活することが困難な人が、その人の状況に応じた施設に入居することができています。また、多様な高齢者向け住まいの整備が進むことで、高齢者が自分にあった住まいを選択することができます。

守られている安心

見守りネットワークが広がり、地域全体で見守りが行われることにより、認知症の人、ひとり暮らし高齢者など支援を必要とする人が、地域で安心して暮らし続けることができます。

主な取り組み

相談体制の充実

平成27年度開設予定の高齢者総合サポートセンターを中心に、高齢者の相談体制を充実させ、必要な人に適切に医療や介護のサービスが提供できるようにします。



介護施設等の基盤整備

区有地活用や民間活用により、特別養護老人ホーム、老人保健施設、認知症グループホーム、ショートステイなど介護保険施設の基盤整備を進めます。



高齢者見守り運動の推進

地域住民や関係機関が連携した「千代田安心生活見守り隊運動」を推進し、見守りのネットワークを強化するとともに、様々な事業を通じて、地域での高齢者の見守り支援の推進を図ります。



「めざすべき、未来」

都心で水辺に親しめるまち

～うるおいと安らぎに満ちた千代田

● 清らかな水辺環境へ

千代田区には内濠・外濠や神田川・日本橋川といった貴重な水辺資源が存在しています。国や都、民間事業者と連携・協力することにより、濠や河川の水質が改善され、良好な水辺環境の再生が進んでいます。

● うるおいと安らぎを日々の暮らしに

九段下から千鳥ヶ淵緑道にいたる濠沿いの道が散策しやすくなるとともに、日本橋川沿いの大規模開発等のまちづくりのタイミングにあわせた水辺や緑に親しめる遊歩道が整備されるなど、うるおいのある水辺空間が創出されています。その結果、水辺に親しみ、安らぎを感じられる環境づくりが進み、水辺空間が人々の憩いの場となっています。



🌀 観光資源として活用

万世橋周辺の整備で設置された船着き場などを活用して舟運事業が展開され、水辺が魅力ある観光資源として活用されています。

主な取組み

親水性の高い水辺空間の創出

九段下から千鳥ヶ淵緑道にいたる濠沿いの道を散策しやすくするとともに、万世橋エリアなど、川沿いのエリアの機能更新にあわせた親水性の高い水辺空間の創出を誘導・支援していきます。また、水環境の把握と濠の水質改善を進めます。

水辺の活用

船着き場の設置を含む万世橋エリアの整備を契機に、神田川・日本橋川の舟運事業の拡充などを支援します。



☆ 人々の憩いとなる、 ☆
水辺空間を大切に。

「めざすべき、未来」

人とのつながりが持てるまち

～人々の優しさにあふれる千代田

◎ マンション居住者間での助けあいの体制

マンション居住者が大半を占める千代田区では、プライバシーの尊重が図られたうえで、非常災害時の助けあいが行えるよう、マンション内の自助・協助による防災体制が整っています。

◎ 助けあいのコミュニティの形成

災害に備えたマンション内のルールづくりをきっかけに、日常生活においても居住者間に風通しの良い人間関係が築かれ、高齢者等への声掛けや見守りが行われ、困ったときに助けあうことができるコミュニティが形成されています。

◎ 地域コミュニティと

マンションコミュニティの連携・協働

マンション居住者と地域の関係者(町会等)が顔をあわせ、定期的に交流を持つことで、町会や商店会など既存の地域コミュニティとマンションコミュニティが連携・協働しながら、共に地域の課題解決に主体的に取り組むことができています。

主な取り組み

マンションに関する課題を協議する機会・場の創出

マンション内に新しいコミュニティが醸成され、地域と共存関係を築いていくことができるよう、区及び関係機関とマンション居住者等が集まり、協議する場を地域ごとに設けます。



マンション防災対策の実施

マンション防災力の向上とマンション内コミュニティの醸成を図るため、(公財)まちみらい千代田と連携し、マンション防災計画の策定や自主防災組織の設立、地域と連携した防災訓練の実施などを支援します。





みんなで助けあい、
困ったときはお互い様で。



「めざすべき、未来」

自転車利用がしやすい 環境にやさしいまち

～快適な移動でまちを楽しめる千代田

◎ エコな交通機関へ

国道・都道とも連携する自転車ネットワークをめざした自転車道や自転車レーンの整備が進むことで、自転車での移動が快適になり、環境に優しく、経済的な自転車が、区民の足として積極的に利用されています。

◎ いつでも誰でも自転車が楽しめる

千代田区には、皇居周辺や丸の内、秋葉原はもちろんのこと、魅力と個性あふれる数々の観光・文化資源が点在します。コミュニティサイクルが隣接する自治体との連携により、自転車利用による回遊性が向上し、千代田区民だけでなく、周辺区にお住まいの人や来街者なども気軽に千代田区に訪れ、楽しむことができるようになっています。

主な取組み

自転車利用の推進

コミュニティサイクルの普及を図るとともに、自転車道・自転車レーンや自転車駐車場の整備を進めます。また、利用者の利便性等を見据え、広域展開に向けた周辺区との連携を推進します。



千代田区 コミュニティサイクル ちよくる

千代田区全域に自転車が用意され、区民はもちろん、千代田区を訪れる観光客、就業者など、誰でも利用できるサービスです。



魅力ある千代田を
気軽に散策できる。

「めざすべき、未来」

災害にそなえ 「協助」が確立されたまち ～すべての人に安全・安心な千代田

◎ 協助の態勢を構築

区民、事業者、来街者等すべての人々が、平時における地域の連携・協働活動を通じ、相互に助けあい、支えあうことができる協助の態勢が構築されています。

◎ 実効性の高い防災計画

大型台風等の発生に備えた、災害発生が予測されるおおむね120時間前から時間の経過に応じた対応を示すタイムライン式防災行動計画が策定されています。また、多発するゲリラ豪雨等の集中豪雨の発生を踏まえた、実行性の高い計画が策定され、訓練を繰り返すことで、都市型水害による被害の発生を最小限に留めています。

◎ 区民、来街者の安全を考えて

浸水想定区域内にある地下鉄駅や大手町・丸の内・有楽町地区の大規模な地下街等は、利用者の避難の確保及び浸水防止のための計画が策定され、計画に基づく避難訓練が定期的に実施されることで、区民、来街者等の施設利用者の安全が確保されています。

◎ 安心できる救護体制の確立

医薬品等の必要な資機材の供給態勢が確立され、医療救護所の開設訓練の計画的な実施など医療救護のための取組みが進み、災害や緊急事態において傷病者等へ迅速に対応できるようになっています。

主 な 取 組 み

防災・減災対策の推進

地域の連携・協働活動を推進し、地域の防災力を向上させ、災害時要援護者や帰宅困難者への対応等において、災害時に互いに助けあえる協力態勢の構築と減災に取り組みます。また、台風など予測可能な災害においては、タイムライン(事前行動計画)を活用した情報発信を行っていきます。

災害に強いまちづくり

頻発する都市型水害への備えとして、地下街等の浸水対策に対し先導的支援に取り組みます。

災害時の医療態勢の整備

医療機関等の事業継続計画(BCP)策定を支援するとともに、医療救護所の開設訓練を計画的に実施し、医療救護の態勢を構築します。また、医薬品供給態勢の確立を進めます。





助けあいの精神が
あふれたまちへ。

「めざすべき、未来」

安全で、 ホスピタリティあふれる 魅力的なまち

～訪日外国人にも愛される千代田



写真提供／一般社団法人千代田区観光協会

千代田区の魅力を、 わかりやすく、誰にでも。



◎ 訪日外国人にもやさしく、 楽しいまち

日本の中心であり東京の顔でもある皇居の周辺において、濠の水質改善や歩行空間の整備、案内表示等の多言語表記などが進み、外国人を含めた来街者をおもてなしする環境が整備されています。

◎ 観光・文化資源をアピール

皇居周辺以外にも、千代田区には様々な魅力的な観光・文化資源が集積しています。文化財標識類やガイドマップなどが、多言語表記やICT技術の活用によってわかりやすく表示されるとともに、外国語ボランティアによる観光案内が行われるなど、千代田区の魅力をアピールする手段や機会が豊富に提供されています。また、千代田区の魅力が広く伝わることにより、国内・国外問わず、多くの来街者が千代田区の観光・文化資源に満ちあふれた各地域を訪れています。

主 な 取 組 み

シティプロモーションの推進

千代田区の魅力を区民と共に、あらためて調査発掘し、創造し、磨き上げ、効果的な情報発信を展開していきます。

文化資源の見える化の展開

標柱・説明板等の文化財標識類やガイドマップについて、デザインや表記に統一性を持たせるとともに、多言語表記やICT技術の活用により、わかりやすいものに更新していきます。

国際交流・協力ボランティアの活用

外国人からの日本語を学びたい、区の観光案内をして欲しいなどの要望に応えるために区民のボランティア活動の育成支援を行います。

ちよだみらいプロジェクト

● 計画の役割

ちよだみらいプロジェクトは、千代田区の将来像を描き、それを実現するための施策のみちすじを示した行政運営の指針である「千代田区第3次基本構想～千代田新世紀構想～」の実現に向け、区政の課題を明らかにし、その解決の方向性を示す総合的な計画です。

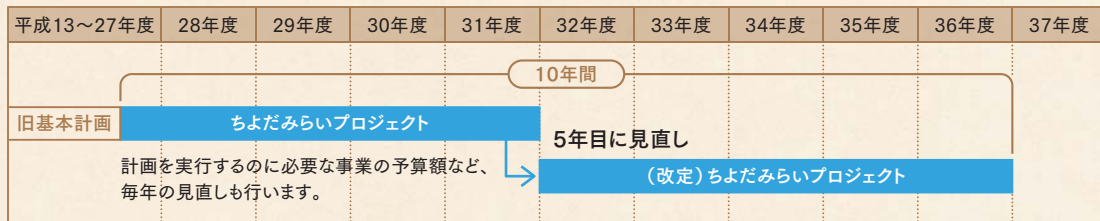
● 計画の期間

ちよだみらいプロジェクトでは、以下の中長期的な視点からの施策展開を行う必要性が高まっていることから、平成27年度(2015年度)から平成36年度(2024年度)までの10年間としました。

- ・今後の区民需要の変化や行政運営に必要な費用等を見据えた中長期的な視点
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた対応は、将来的にも千代田区の価値や魅力の向上に資するものでなければならず、開催後の千代田区の将来像を見据えた中長期的な視点

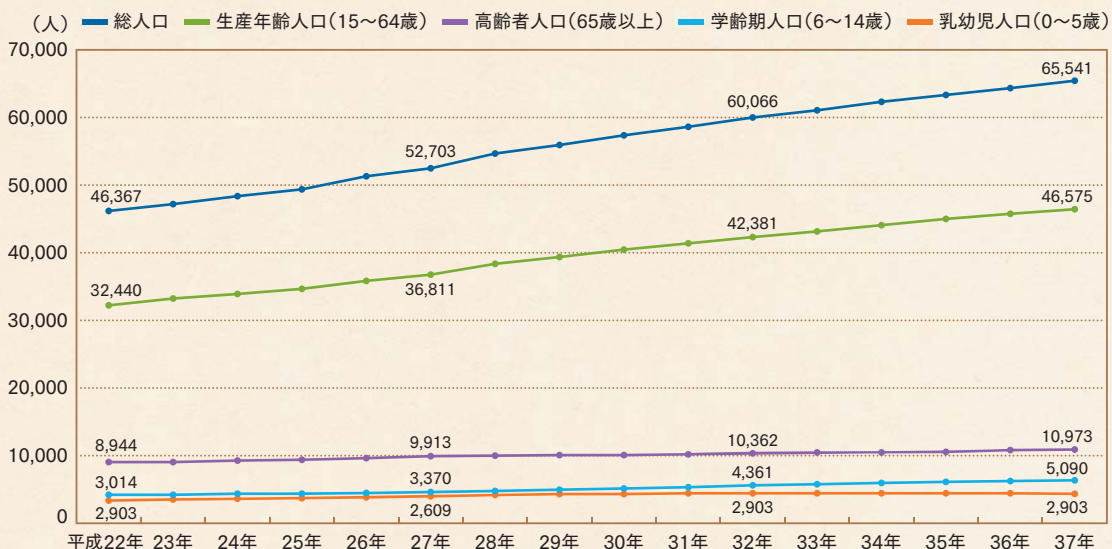
また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催による影響やその他社会経済情勢の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、5年を目途に見直しを行います。

【基本計画の見直しスケジュール】 基本構想の計画期間、20年間(おおよそ平成30年代まで)



● 計画期間の想定人口

区が行った人口推計では、平成37年の区の人口は6万5千人に達します。区の人口は、当面増加していくことが見込まれることから、そうした局面では想定人口を前提に、将来の区民構成を見据えた適切な施策を行っていくことがより重要になります。そのため、ちよだみらいプロジェクトでは計画期間である10年後の6万5千人を「想定人口」とし、これを見据えた施策展開を行うとともに、人口構成の変化も見据え、多様な人々が住み、働き続けられる環境を確保するための取組みを行っていきます。



● 老朽化等により機能更新が必要な施設の整備計画

現施設名等 複合施設	平成27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	備考
四番町保育園 四番町児童館	設計		工事		開設						
区営四番町住宅											
四番町図書館			構想	設計		工事		開設			
区営四番町 アパート											
四番町職員住宅											
一番町児童館					構想						
区営一番町住宅											
九段生涯学習館			構想								
区営九段住宅											
区営内神田住宅					構想						
内神田職員住宅											

設計・工事等が実施中の施設

設計・工事等が実施予定の施設

現施設名等	平成27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	備 考
ちよだパークサイド プラザ	構 想		設 計		工 事		開 設				
和泉小学校 いずみこども園											
庁 舎											
万世橋出張所・ 区民会館	設 計		工 事		開 設						
千代田清掃事務所	構 想										
千代田万世会館	構 想										
スポーツセンター	構 想		設 計		工 事		開 設				
保 育 園											
麴町保育園	工 事	開 設									
学 校 施 設											
九段小学校 九段幼稚園	工 事			開 設							
お茶の水小学校 お茶の水幼稚園	構 想	設 計		工 事		開 設					
番町小学校 番町幼稚園	改 修							構 想		設 計	平成40年度 開設予定

■ 設計・工事等が実施中の施設

■ 設計・工事等が実施予定の施設

現施設名等	平成27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	備 考
麴町小学校 麴町幼稚園	設 計	改 修									
住 宅											
区営外神田住宅	構 想										

● 老朽化等により機能更新が必要な都市基盤施設及び新規の都市基盤施設

現施設名等	平成27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	備 考
橋 梁											
お茶の水橋	設 計	工 事									
新見附橋	調 査										
新四谷見附橋	調 査										
牛込見附橋	調 査										
公 園											
九段坂公園	調 査	設 計	工 事	開 設							
東郷公園	調 査	設 計	工 事	開 設							
(仮称) 錦町三丁目広場	開 設										

■ 設計・工事等が実施中の施設
 ■ 設計・工事等が実施予定の施設

● 新たな行政ニーズ等により建設または誘致する施設の整備計画

現施設名等	平成27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
庁 舎										
(仮称)エコセンター	構 想 事業者 選定	設 計	工 事	開 設						
福 祉 施 設										
高齢者総合サポートセンター 〔旧千代田区役所本庁舎跡地に建設中 高齢者の相談拠点、高齢者活動拠点、 人材育成・研修拠点、多世代交流拠点を整備 合築の病院が在宅ケア(医療)拠点を整備〕	工 事	開 設								
(仮称)高齢者施設 〔民間事業者を誘致 特別養護老人ホーム(定員29名程度)、 認知症高齢者グループホーム(定員18名程度) 他〕	構 想 事業者 選定	設 計	工 事	開 設						
(仮称)高齢者施設 〔民間事業者を誘致 特別養護老人ホーム(定員80名程度)、 老人保健施設(定員100名程度)、 認知症高齢者グループホーム(定員27名程度) 他〕			構 想 事業者 選定	設 計	工 事	開 設				
(仮称)高齢者施設 〔民間事業者を誘致 特別養護老人ホーム(定員29名程度)、 認知症高齢者グループホーム(定員27名程度) 他〕					構 想 事業者 選定	設 計	工 事	開 設		
保 育 園										
(仮称)保育施設 〔民間事業者を誘致 私立認可(定員138名程度)〕	開 設									
(仮称)保育施設 〔民間事業者を誘致 私立認可(定員63名程度)〕	開 設									
(仮称)保育施設 〔民間事業者を誘致 0～2歳児を対象とした小規模保育 (定員18名程度)〕	事業者 選定 改 修	開 設								
(仮称)保育施設 〔民間事業者を誘致 私立認可(定員102名程度)〕	事業者 選定 改 修	開 設								
(仮称)保育施設 〔民間事業者を誘致 私立認可(定員80名程度)〕	事業者 選定 改 修	開 設								
(仮称)保育施設 〔民間事業者を誘致 私立認可(定員72名程度)〕		事業者 選定 改 修	開 設							
住 宅										
(仮称)区営東松下町住宅 〔旧千桜小学校跡地に建設中〕	工 事	開 設								

■ 設計・工事等が実施中の施設 ■ 設計・工事等が実施予定の施設

※(仮称)エコセンターとは、環境に関する情報の発信拠点及び様々な団体の活動拠点等となる施設



10年後の輝ける千代田区、
みなさまとともに。





平成27年3月発行

編集・発行：千代田区政策経営部企画調整課
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
☎03(3264)2111
